

機械器具 70 歯科用鋳造器
一般医療機器 歯科技工用ポーセレン焼成炉 (35762000)

プログラマツト CS3

【形状・構造及び原理等】

本品は、①ファーンヘッド、②ファーンスペース(冷却トレイを含む)、③タッチパネルディスプレイ、④コントロールユニットで構成される。

[装置概観図]



【付属品】

電源コード
焼成テーブル
温度校正キット
バキュームポンプ用ホース
バキュームポンプ(別売)

【電気定格】

電源電圧:AC100V
周波数:50/60Hz
過電圧カテゴリー II
許容電圧変動:±10%
最大電力消費:14A/100V
最終真空値:50mbar未満
ヒューズ :125V/T15A(熱回路)/T5A(バキュームポンプ)

【本体寸法及び重量】

ヘッドを閉じた時のサイズ:幅395×奥行495×高さ320mm
マッフルの使用可能範囲:直径90mm、高さ80mm
重量:18.7kg

【性能】

最高焼成温度:1200℃
温度上昇率:10~140℃/分

【使用目的又は効果】

ポーセレンを焼成するために歯科技工で使われる炉

【使用方法等】

【使用環境】

温度:5~40℃
湿度:31℃で80%以下(動作時)、40℃で50%以下(静止時)
高度:標高2,000m以下

【設置方法】

1. 取り付け及び動作前準備

本品の詳細な組み立てと始動方法については本品付属の取扱説明書を参照すること。

- (1)開梱して中身をチェックする。
- (2)平らな場所に本品を設置する。
- (3)本品を以下の手順で組み立てる。
 - ①冷却トレイをファーンスペースに取り付ける。
 - ②次にファーンヘッドをファーンスペースに取り付ける。
 - ③電源コードを本品の電源ソケットに接続する。
- (4)電源コードを電源に接続する。

2. メニューの動作と通常の設定方法

- (1)本品はディスプレイ上に設定項目が表示される。設定項目は矢印ボタンを使って選択する。希望の数値を入力して設定値の変更を行う。数字パッドで数値を変更できる。
- (2)選択したプログラムや焼成パラメータで入力した数値が実行不可能な場合は、カーソルに入った数値が点滅し、エラーメッセージがディスプレイ上に表示される。

(3)プログラムがスタートした後、関連する設定項目および焼成曲線が画面上に表示される。

(4)メニュー、キーの機能、焼成曲線ディスプレイや温度校正キットの詳細については取扱説明書を参照すること。

3. 使用方法およびプログラムの説明

(1)電源のON/OFF

本品の背面にあるON/OFFスイッチを“1”側に入れ、セルフテストが終了するとディスプレイにホーム画面が表示される。電源を切るにはON/OFFスイッチを“0”側に入れる。

(2)標準プログラムでの焼成

①タッチパネルディスプレイに表示される指示に従いプログラムを選択する。

②キー操作でファーンヘッドを開く。

③STARTキーを押すと、プログラムは自動的に進行する。

④プログラムが終了すると信号音が鳴る。

⑤キー操作でファーンヘッドを閉じる。

⑥焼成が終わったら、本品の電源スイッチを切る。

(3)フリープログラムでの焼成

全てのプログラムに個別の値を設定できる。

焼成については取扱説明書を参照すること。

【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

1. 本品はセラミックファイバーを含んでおり、ファイバードラストが発生する可能性があります。セラミックファイバーは発がん性が確認されており、マッフルの取り外しは認定されたIvoclar Vivadent(株)テクニカルセンターでのみ行うこと。また、ダストを大気中に散布する可能性があるため、強力なエアークリーン等でブローしないこと。
2. ケーブル類が接続されたままファーンヘッドを外さないこと。
3. バキュームホースを短くしないこと。1.6m以上の長さで使用する。
4. 感電の危険があるので換気口には異物や液体を置いたり、入れないこと。
5. 火傷の恐れがあるので、素手で炉内にものを置かないこと。常にトングを使用すること。同じく火傷の恐れがあるので素手でファーンヘッドを触らないこと。ファーンヘッドの警告表示も参照すること。
6. 冷却トレイを持ってファーンヘッドを持たないこと。
7. ケーブルを持ってファーンヘッドを持たないこと。
8. ファーンヘッドの開閉は、必ずキー操作をすること。本品の損傷につながるため、手動でファーンヘッドの開閉はしないこと。
9. 炉内の石英ガラス管または断熱材に損傷がある場合は使用しないこと。
10. コイルに触れると感電の危険性があるので触れないこと。
11. 損傷を避けるためにも、トング等で断熱材に触れないこと。
12. ファーンヘッドが開閉する障害になるため、焼成トレイはフレームプレートには置かないこと。
13. 焼成テーブルなしで使用しないこと。
14. 炉内のサーモカップルおよびヒートエレメントは触らないこと。部品の早期損傷の原因となるため、皮膚との接触を避けること(皮脂による汚染)。
15. 火傷や怪我の恐れがあるので、ファーンヘッドが稼働中に手や体の一部を入れないこと。
16. 怪我の恐れがあるので、ファーンヘッドの稼働部に手を触れないこと。
17. 内部、および外部の保護導体に接触不良や保護導体の接続部に緩み等があった場合、使用者に対して危険が及ぶ可能性があるため、無理な使用は避けること。
18. 有害なガスを発生させる材料を使用しないこと。
19. 電源を入れる前、定格表記に明記されている電圧が使用地域の電圧に合っているか確認すること。
20. 電源プラグは必ずアースを引いたコンセントに接続すること。
21. ファーンヘッドには接続部が保護された形状のソケットを使用すること。

22. 必ず純正の電源コードを使用すること。
23. 本品背面の換気口付近は換気が阻害されない状態を保つこと。
24. 移動は必ず冷めた状態で行うこと。
25. ファーネスが極端に低い温度の場所や、湿度の高い場所で保管されていた場合は、4 時間ほど室温になじませること(その間は電源を入れないこと)。
26. 屋内で使用すること。
27. 初めて使用する前に、除湿プログラムを実行してファーネスの湿気を除去すること。
28. 延長コードは使用しないこと。また、タコ足配線をしないこと。
29. 一般ゴミとして廃棄しないこと。各自治体の規定に従って正しく廃棄すること。

[相互作用]

本品の傍で、携帯電話等、電磁波を発生する機器の使用は装置に障害を及ぼす恐れがあるので、使用しないこと。

【保守・点検に係る事項】

詳細については取扱説明書を参照すること。

1. 本品及び部品は必ず定期点検を行うこと。
2. 本品の清掃は乾いた清潔な布か、少し湿った清潔な布で行うこと。洗剤は使用しないこと。必ず電源プラグを抜いてから清掃を行うこと。
3. 電源が接続され、ファーネスヘッドが開いた状態で調整、メンテナンス、修理を行う必要がある時は、注意事項や取扱方法を熟知した専門家が必ずこれらの作業を行うこと。
4. メンテナンス後、必要な安全確認テストを行うこと。
5. 純正パーツのみを使用すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売元]

Ivoclar Vivadent 株式会社

電話 03-6801-1301 Fax 03-5844-3657

www.ivoclarvivadent.jp

[製造元]

Ivoclar Vivadent GmbH (オーストリア)